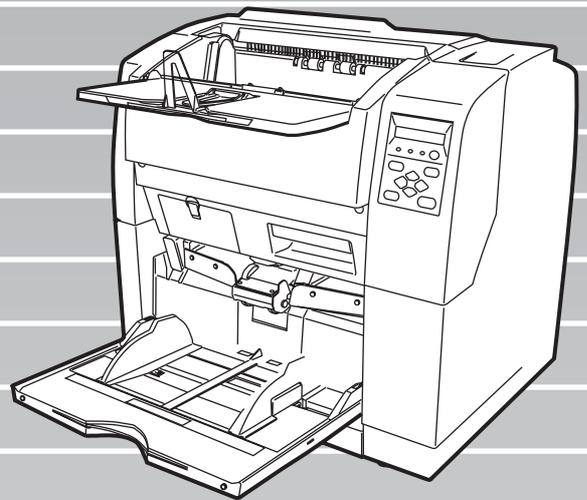




P3PC-E177-04

fi-4860C イメージスキャナ インストールガイド



はじめに

このたびは、fi-4860C 両面カラーレスキャナ装置をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
fi-4860C は、多様な原稿を大量に読み取ることのできるレスキャナ装置です。
fi-4860C には、次のような特長があります。

- **高速読み取り可能、特にカラー読み取りが速い！**
A4 サイズの原稿を、両面カラー 60 枚 / 分のスピードで読み取ります。
- **原稿のサイズや厚さ、紙質などの制限が少ない！**
- **一度に大量の原稿を読み取れます！**
大容量ホッパを標準装備していますので、一度に 500 枚の原稿を読み取ることができます。

本書の構成

このマニュアルは、以下のような構成になっています。

1. **お使いになる前に**
本体と付属品、およびレスキャナの各部の名称について説明しています。
2. **レスキャナの設置と接続**
レスキャナの設置の仕方、ケーブルの接続の仕方、および、ソフトウェアのインストールについて説明します。

また、ユーザマニュアル (CD-ROM) の中に、オペレータガイドが格納されています。レスキャナの取り扱いや日常のお手入れ、消耗品の交換、トラブルの対処方法などが書かれています。あわせてご一読ください。
また、添付の SETUP CD-ROM に「FUJITSU TWAIN32 レスキャナドライバ取扱説明書」が格納されています。レスキャナドライバの使い方については、上記取扱説明書をご覧ください。

1. スキャナの基本的な操作方法

スキャナの基本的な操作方法、および基本的な原稿の読み取り方法について説明しています。

2. いろいろな読み取り方法について

いろいろな原稿の読み取り方法について説明しています。

3. 日常のお手入れ

スキャナの清掃方法について説明しています。

4. 消耗品の交換

消耗品の交換方法について説明しています。

5. 困ったときには

原稿詰まりの処理方法、およびトラブルの対処方法について説明しています。

6. 原稿について

本装置で使用できる原稿について説明しています。

7. 各種モードについて

セットアップモードおよびテストモードについて説明しています。

8. オプションについて

本装置のオプションについて説明しています。

9. スキャナの仕様

fi-4860C 両面カラーレスキャナの仕様について説明しています。

本書が fi-4860C 両面カラーレスキャナを活用していただくために、皆様のお役に立つことを願っております。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合は、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が日本と米国のエネルギースター基準に適合していると判断します。



国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。このプログラムはエネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる装置は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク

() は参加各国で統一されています。

高調波ガイドラインについて

高調波ガイドライン適合品

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

事業系の使用済み製品の引き取りとリサイクルについてのお願い

- この製品の所有権が事業主の場合には、使用後に廃却される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（廃棄物管理表）の発行が必要となります。
- 製品所有者が当社に廃棄を依頼される場合には、当社と連携している物流会社（産業廃棄物収集運搬許可業者）にて引き取りを行いますので、その際には、「PFU ライフビジネス株式会社 首都圏リサイクルセンター」（電話 0467-70-7290）へ問い合わせをお願いします。
- 当社では、リサイクルシステムを構築し、リサイクルセンターで使用済み製品の解体、分別処理により、部品の再使用や材料へのリサイクルを行っています。

水銀使用について

本製品のランプには水銀が使用されています。危険防止のために下記の事項を厳守してください。

- 口に入れないでください。
- 本製品の水銀が体内に入ると危険です。
- 気体や粉末、液体にしないでください。
- 本製品を焼いたり、砕いたり、科学的処理をした液体を吸引、誤飲すると危険です。
- 廃棄する場合は、関係国内法及び貴社廃棄物処理規定に従ってください。
- 本製品を廃棄する場合は、一般産業廃棄物や家庭用廃棄物とは別にしてください。

グリーン製品について

本製品は、当社の厳しい環境評価基準（リサイクル、省エネ化、環境にやさしい素材の採用など）をクリアした地球にやさしい「グリーン製品」として提供しています。詳細は富士通ホームページ「環境のコーナー」をご参照ください。

<http://eco.fujitsu.com/>



いつも地球を見守っている

紙幣等の偽造防止について

紙幣、有価証券などをスキャナを使用してプリンタに不正に印刷すると、その印刷物の使用如何にかかわらず下記の法律に違反し、罰せられます。

刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条、
通貨及証券模造取締法 第 1 条、第 2 条
等

複製について

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、公共団体や民間団体発行の免許証許可証、公文書、私文書などの複製は違法であり、処罰の対象となります。

著作権について

書籍、絵画、版画、地図、図面および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内のその他、これらに準ずる限られた範囲内で使用する用途以外は、権利者の許可なしに複製することはできません。

商標および登録商標について

Microsoft、Windows および WindowsNT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

ISIS、Quickscan およびそれぞれのロゴは Pixel Translations, A Division of Captiva Software Corporation. の登録商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、および Acrobat ロゴは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。

その他、本書中の商品名や製品名は、各社の登録商標または商標です。

商標の表記について

本書では、次の用語について省略して記述しています。

- Windows 95 : Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
- Windows 98 : Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
- Windows Me : Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
- Windows NT : Microsoft® Windows NT® Server operating system Version4.0
日本語版
Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version4.0
日本語版
- Windows 2000 : Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
- Windows XP : Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版、
Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版

上記すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windowsと表記しています。

製造・販売元

株式会社 PFU

〒 212-8563

神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地 (ソリッドスクエア東館)

TEL: 044-540-4538

All Rights Reserved, Copyright © 株式会社 PFU 2002-2003

■ 本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要な事柄が記載されています。本製品をご使用される前に、本書を熟読してください。特に、本書に記載されている『安全上のご注意』は、必ずお読みいただき、内容をよく理解されたうえで本製品をお使いいただくようお願いいたします。また、本書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるように、大切に保管してください。

本書で使用している警告表示について

本書では、製品を安全に、かつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や存在を未然に防止するために、次のような表示をしています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

本書で使用している記号について

本書では、警告表示とは別に、説明中に以下の記号を使用しています。



特に注意が必要な事項が書かれています。必ずお読みください。



操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。



三角で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を示す絵が描かれています。



丸に斜線で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。



黒塗りの丸に白抜きで示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。

本書に記載されている画面について

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。

表示された画面が、本書に記載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアの取扱説明書を参考にして、実際の画面に従って操作してください。

なお、本書に記載している画面は、FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバ、イメージキャプチャリングソフトウェア ScandAll 21 および Adobe® Acrobat® 5.0 のものです。

メンテナンスについて

当製品の修理は、お客様自身でおこなわないでください。

製品をお求めになった販売代理店あるいは P F U イメージングサービス&サポートセンターに連絡してください。

■ 安全上のご注意

警告

本書中に記載されている重要な警告事項は以下のとおりです。

濡れた手で電源ケーブルを触らない



濡れた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

電源ケーブルを傷つけない



電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因になることがあります。重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。また、電源ケーブルや電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込み口がゆるい場合は、使用しないでください。

指定された電源ケーブルや接続ケーブルを使用する



指定された電源ケーブルや接続ケーブル以外は使用しないでください。感電や故障の原因となることがあります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。たこ足配線しない



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。
また、たこ足配線をしないでください。

電源プラグのほこりは、よく拭き取る



電源プラグの金属部、および金属部の取り付け面にホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。火災や感電の原因となることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所に設置しますと、火災や感電の原因となることがあります。

異臭がしたら使用しない



万一、機器から発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに機器本体の電源スイッチを押して電源を切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が消えるのを確認して、販売会社（またはPFUイメージングサービス&サポートセンター）に連絡してください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

機器を破損したら電源を切る



機器を落としたり、カバーなどを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売会社（またはPFUイメージングサービス&サポートセンター）に連絡してください。

内部に水や異物を入れない



開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気をつけてください。本体に水をかけたり、濡らしたりしないでください。



異物（水、金属片、液体など）が機器の内部に入った場合は、ただちに機器本体の電源スイッチを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売会社（またはPFUイメージングサービス&サポートセンター）に連絡してください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



むやみに内部を開かない



装置を分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があります。

本装置は日本国内専用です



本装置は日本国内専用です。海外などで使用すると、火災や感電の原因になる場合があります。

注意

本書中に記載されている注意事項は以下のとおりです。

装置を不安定なところに置かない



スキャナのどの部分も机から突き出さないように置いてください。また、装置は底部の水平な部分を保持してください。



装置を不安定な場所に置かないでください。振動の少ない、装置が傾かないような平らな場所に置いてください。

電源プラグを確実に差し込む



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

通気口をふさがない



通気口をふさぎますと、装置の内部が高温になるため、火災や故障の原因となることがあります。通気口をふさがないでください。

装置の上に重いものを載せない、上に乗らない



装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。けがの原因となることがあります。

装置を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜く



ケーブルを接続したまま装置を移動させますと、ケーブルが傷つき、火災や感電、けがの原因となることがあります。装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。

静電気を避ける



強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。静電気を発生させますと、誤動作の原因になります。床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。

エアスプレーを使用しない



清掃などの目的でエアスプレーを使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、埃などが装置内部に侵入し、故障や装置異常の原因となる場合があります。

歯車やローラなどに衣服やネクタイ、髪を巻き込まれないようにする



歯車やローラなどの可動部に衣服の袖やネクタイ、髪を巻き込まれないようにしてください。けがの原因となることがあります。

長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く



長期間機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光の当たる場所に置かない



直射日光の当たる所や暖房機の近くには置かないでください。装置内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。また、通気性、換気性の良い場所で使用してください。

装置をひとりで持たない



装置を動かすときは決して一人で行わないでください。

目次

| | |
|--|-----------|
| 1 お使いになる前に | 1 |
| 本体と付属品の確認 | 2 |
| 各部の名称と働き | 3 |
| 操作パネルについて | 6 |
| 2 スキャナの設置と接続 | 11 |
| スキャナの設置 | 12 |
| ケーブルの接続 | 13 |
| ソフトウェアのインストール | 16 |
| 付録1 操作パネルのメッセージ | AP-1 |
| 通常時のメッセージ (Check LED が消灯) | 1 |
| エラーメッセージ (一時的な異常: Check LED が点滅) | 5 |
| アラームメッセージ (装置異常: Check LED が点灯) | 9 |
| 付録2 消耗品の番号と交換周期 | AP-14 |
| 付録3 困ったときには | AP-15 |
| ・ 付録4 原稿詰まりが発生したときは | AP-17 |
| 給紙部または搬送路での原稿詰まりの場合 | 17 |
| 排紙部での原稿詰まりの場合 | 18 |
| 原稿分離力の調整 | 20 |
| 修理・お問い合わせについて | RM-1 |
| 索引 | IN-1 |

1 お使いになる前に

この章ではスキャナをお使いになる前に必要な準備について説明します。

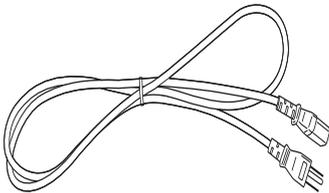
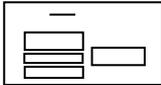
1.1 本体と付属品の確認 2

1.2 各部の名称と働き 3

1.3 操作パネルについて 6

1.1 本体と付属品の確認

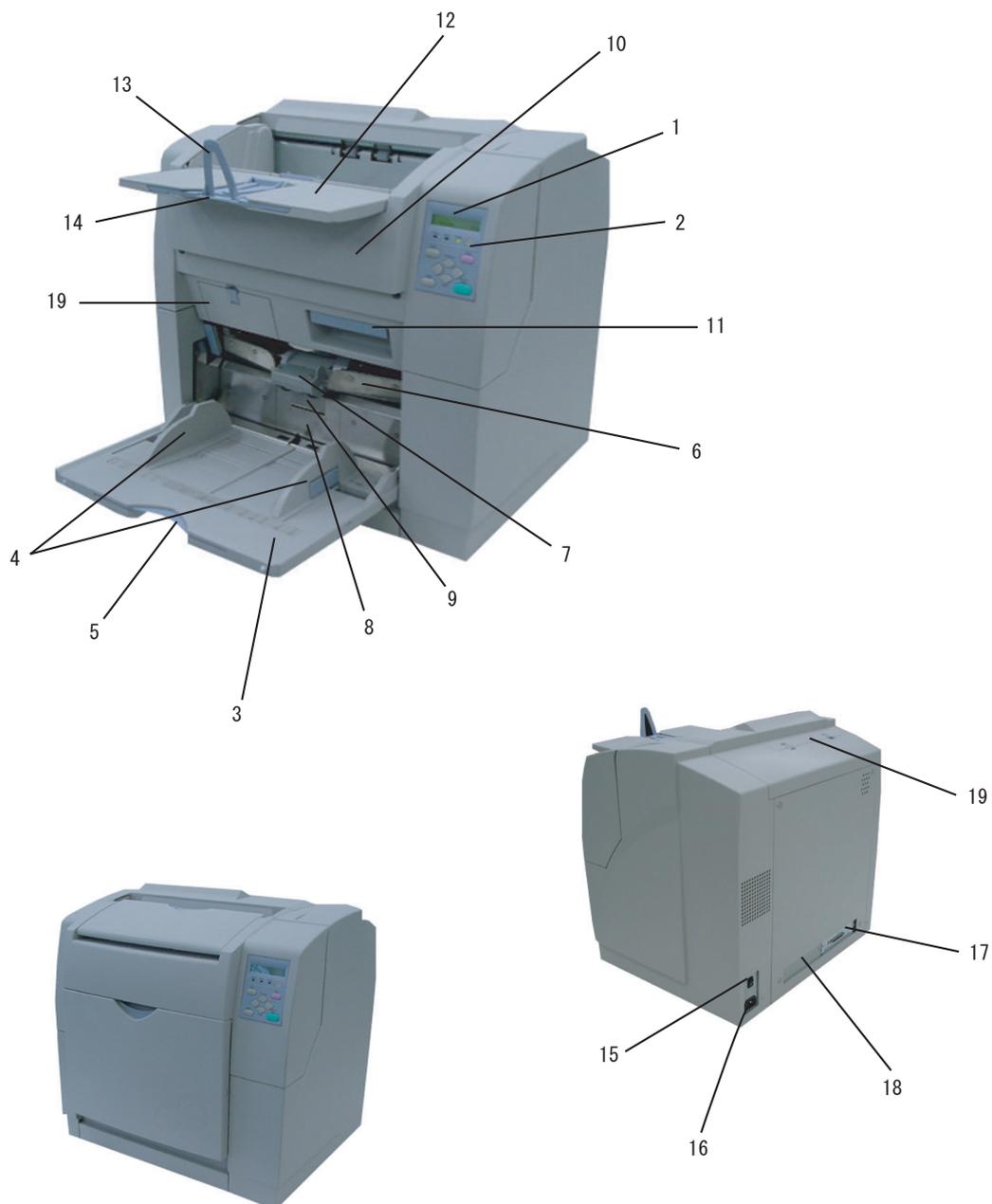
スキャナを開梱したら、以下に示す梱包品がすべて揃っているかどうかを確認してください。万一、足りないものや不良品がありましたら、販売代理店またはPFU イメージングサービス&サポートセンターまで連絡してください。
なお、本体と付属品はていねいに取り扱ってください。

| 本体と付属品 | | |
|---|--|---|
| スキャナ本体  | 電源ケーブル (1本)  | ユーザマニュアル CD-ROM  |
| Setup CD-ROM  | Adobe® Acrobat® 5.0 CD-ROM  | インストレーション ガイド (本書)  |
| お客様登録カード  | 保証書  | FUJITSU ISIS スキャナドライバ インストレーションガイド  |

1.2 各部の名称と働き

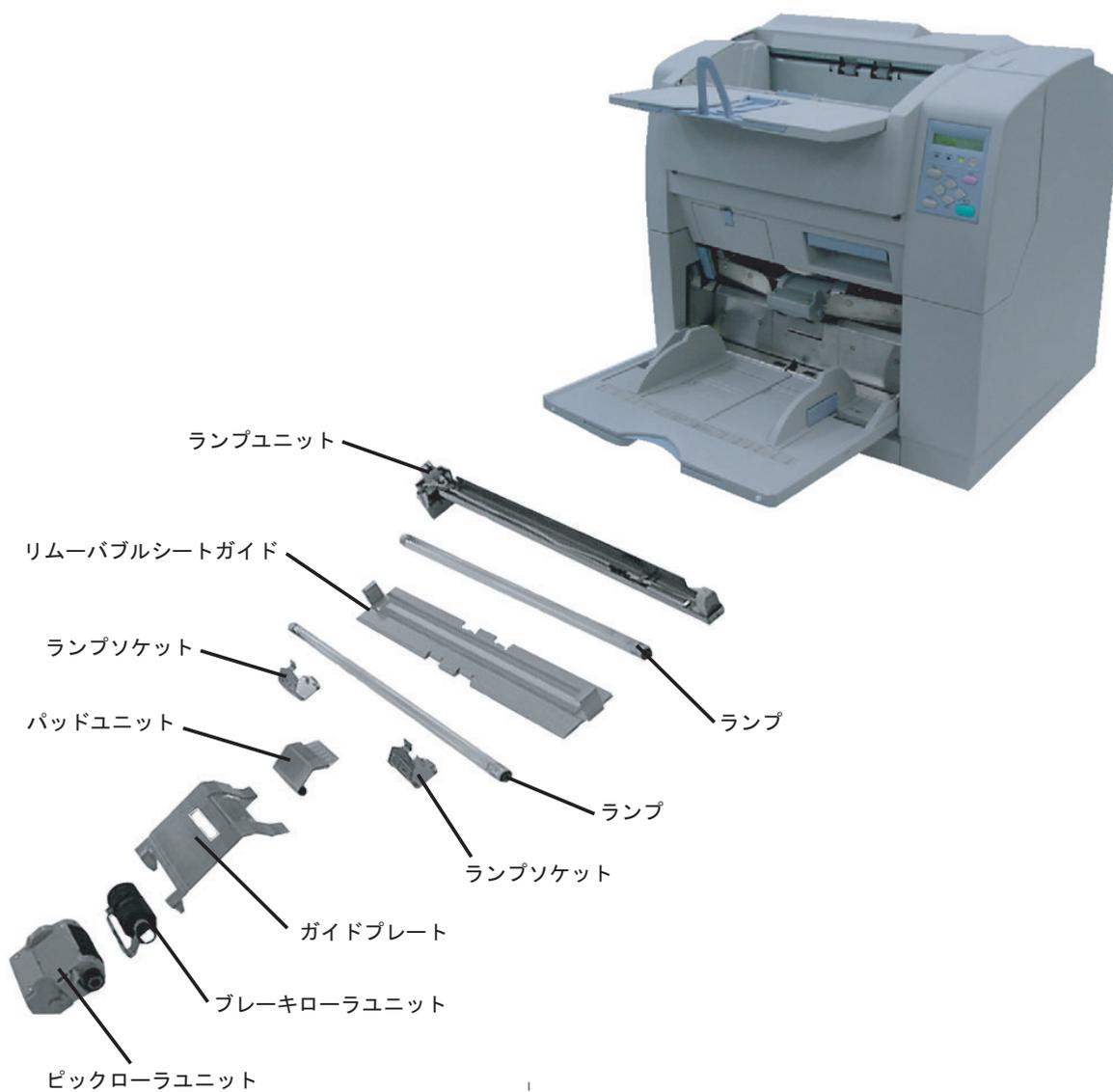
この節では、スキャナの外觀を示します。各部品の名前とそれらの機能についても説明します。

■ ユニット



| No. | 名称 | 機能 |
|-----|--------------------------|---|
| 1 | 操作パネル | スキャナを操作するために使用します。 |
| 2 | 電源ボタン | 電源を投入/切断するために使用します。 電源スイッチが「 」にセットされていないと有効になりません。 |
| 3 | ホッパ | 読み取る原稿を載せます。 |
| 4 | サイドガイド | 原稿の幅に合わせて調節します。 |
| 5 | ホッパエクステンション | 長い原稿をセットする時に使用します。 |
| 6 | ADF (オートマティックドキュメントフィーダ) | 原稿を自動的に繰り返し読み込みます。 |
| 7 | ピックアップユニット | ホッパから一番上の原稿を送り込みます。 |
| 8 | ガイドプレート | パッドユニットを取り付ける板です。 |
| 9 | パッドユニット | ホッパから一番上の原稿を送り込みます。 |
| 10 | 上搬送ユニット | 詰まった原稿を取り除いたり、消耗品を交換したりする場合に開きます。 |
| 11 | 上搬送レバー | 上搬送ユニットを開けるために使用します。 |
| 12 | スタッカ | 読み取られた原稿が積み重なります。 |
| 13 | ストッパ | スタッカに排出される原稿の長さ方向の調整をします。 |
| 14 | スタッカエクステンション | 長い原稿を読み取る時に使用します。 |
| 15 | 電源スイッチ | スキャナのメイン電源を投入/切断します。 |
| 16 | インレット | 電源ケーブルを接続します。 |
| 17 | インタフェースコネクタ | Ultra Wide SCSI インタフェースケーブルを接続します。(×1) |
| 18 | サードパーティスロット | 当社指定のオプションボードを搭載します。 |
| 19 | インプリンタカバー | プリントカートリッジを交換する場合に開きます。 |

■ 取り外し可能部品



1

お使いになる前に

1.3 操作パネルについて

操作パネルは、スキャナの上側右側にあります。このパネルは、LCD（16文字×2行）、LED、ボタンから構成されています。

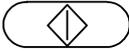
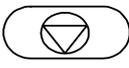
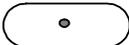
■ 配列



電源ボタン



■ ボタン / LED の機能

| ボタン名 | 機 能 |
|--|--|
|  | 電源スイッチが「 」にセットされているときに電源を投入 / 切断ができます。 |
| Send to/Start  | テストモードでスキャナに読み取り起動をかける場合に使用します。 |
| Stop  | Check ランプが点灯または点滅している時に押すと、エラー状態が解除されます。 |
| Enter  | メニュー画面の切り替え、およびセットアップモードにおいて画面の設定状態を確定します。 |
| Exit  | セットアップモードで使用します。押すとレディ画面に戻ります。 |
| Previous  | メニュー表示が変わります。メニュー画面を 1 つ前に戻すときに使用します。 |
|  Next | メニュー表示が変わります。次のメニュー画面を表示するときに使用します。 |
|  | 動作モード及び設定内容の変更を行う場合に使用します。 |
|  | 動作モード及び設定内容の変更を行う場合に使用します。 |

| LED | 機能 |
|--|---|
| Power  | 電源が投入されているときに点灯します。 |
| Read  | 読み取り動作中に点灯します。 |
| Check  | <p>アラーム（装置異常）が発生すると点灯します。  ボタンを押すと消灯します。 （初期診断時のものを除きます）</p> <p>エラーが発生すると点滅します。 原稿詰まりおよびダブルフィードが発生しています。  ボタンを押してエラーを解除させると消灯します。</p> <p>原稿詰まりの場合は詰まった原稿を取り除き、上搬送ユニットが閉じられた時に自動的に消灯します。</p> |

| LCD | 機能 |
|---|----------------------|
|  | 装置の状態またはエラー内容を表示します。 |

■ カウンタ表示

読み取り枚数カウンタ、および消耗品カウンタの表示は、以下のようにになっています。

読み取り枚数カウンタ



消耗品カウンタ

ライフカウンタの表示は、◇(左方向)ボタンと◇(右方向)ボタンを同時に一秒以上押すと、以下のように切り換わります。

読み取り枚数カウンタ



ライフカウンタ

ライフカウンタから、読み取り枚数カウンタおよび消耗品カウンタの表示へ戻るときは、入る時と同様に、◇(左方向)ボタンと◇(右方向)ボタンを同時に一秒以上押してください。

| カウンタ | 機 能 | |
|------------|---|--|
| 読み取り枚数カウンタ | ◇（左方向） ボタンを一秒以上 押した時 | 読み取り開始から「ヨウシナシ」またはエラーが検出されるまでに読み取った原稿の枚数を表示します。カウンタは次の読み取り開始時自動的にリセットされます。例えば、ひとつのバッチ業務で読み取った原稿の枚数を知るのに利用できます。 |
| | ◇（右方向） ボタンを一秒以上 押した時 | 表示されているカウンタは原稿を一枚読み取る毎に1進みます。カウンタは電源が切断されるまで初期化されません。例えば、一日に読み取った原稿の枚数を知るのに利用できます。 |
| 消耗品カウンタ | 読み取った原稿の累積枚数を数えます。このカウンタは原稿を一枚読み取る毎に1進みます。清掃の周期や部品の交換周期の目安としてお使いください。カウンタの数値は、最も早く交換時期がくる消耗品の値が表示されます。リセットのやり方についてはユーザマニュアル（CD-ROM）に格納されている「オペレータガイド 第7章：各種モードについて」を参照してください。 | |
| ライフカウンタ | 読み取った原稿の工場出荷時からの累積枚数を表示します。このカウンタは原稿を一枚読み取るごとに1進みます。このカウンタは装置の寿命の目安としてお使いください。このカウンタはリセットできません。 | |



カウンタの値が0の時は、数値は表示されません。

2 スキャナの設置と接続

この章では、スキャナの設置のしかたとケーブルの接続のしかた、およびソフトウェアのインストールについて説明します。

この章では、以下の用語を省略して表記しています。

| | |
|--------------|--|
| Windows 95 | :Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 |
| Windows 98 | :Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 |
| Windows Me | :Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 |
| Windows 2000 | :Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版 |
| Windows XP | :Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 |
| Windows NT | :Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 |
| | :Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version4.0 日本語版 |
| | Microsoft® Windows NT® Server operating system Version4.0 日本語版 |

| | |
|-------------------------|----|
| 2.1 スキャナの設置 | 12 |
| 2.2 ケーブルの接続 | 13 |
| 2.3 ソフトウェアのインストール | 16 |

2.1 スキャナの設置

■ 設置時の注意

1. スキャナを設置場所に置きます。

スキャナの外形寸法、および設置するために必要なスペースについては、ユーザマニュアル（CD-ROM）に格納されている「オペレータガイド 第9章：スキャナの仕様」を参照してください。



本装置は重量が約 45kg ありますので、スキャナを設置するときは、二人以上でおこなってください。

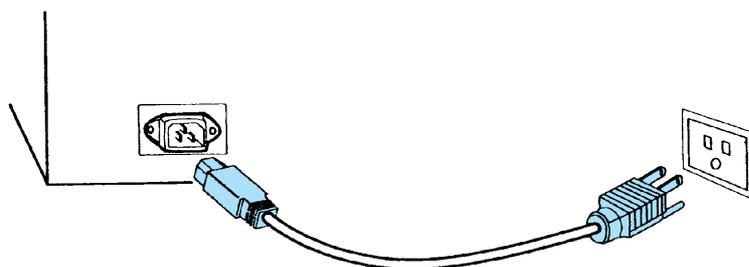


本装置を移動するときは、必ずスキャナの底面を持って運んでください。

2.2 ケーブルの接続

■ 電源ケーブルの接続

電源ケーブルを本装置のインレット（電源差込口）と電源コンセントに接続します。



■ インタフェースケーブルの接続

インタフェースケーブル、および SCSI カードは、市販のものを別途購入していただく必要があります。

パソコンとの接続には、下記 SCSI カードおよび SCSI ケーブルを使用してください。

| 接続可能な SCSI カード | 対応する SCSI ケーブル |
|-------------------------|---|
| ADAPTEC SCSI card 29160 | ADAPTEC ACK-LVD-CBL KIT |
| ADAPTEC SCSI card 39160 | ADAPTEC ACK-68V-68HD-LVD ADAPTEC ACK-68V-68HD-LVD-2M-ICE |
| KOFAX Adrenaline 650i | ADAPTEC ACK-LVD-CBL KIT |

推奨品以外の SCSI カードを使用された場合は、スキャナの動作が不安定となる場合があります。

ADAPTEC SCSI カード使用時は、以下の設定をおこなう必要があります。

(1) SCSI ボードに添付されているドライバを使用してください。

ドライバは、下記のウェブサイトからダウンロードすることもできます。

・ ASC29160 の場合 :

<http://www.adaptec.co.jp/support/download/scsi/29160.html>

・ ASC39160 の場合 :

<http://www.adaptec.co.jp/support/download/scsi/39160.html>

(2) ASPI version4.70 以上をインストールしてください。

下記のウェブサイトからダウンロードできます。

ただし、「FUJITSU TWAIN32 Version9.x」をお使いの場合は、インストールする必要はありません。

http://www.adaptec.co.jp/support/download/soft/aspi_package.html

また、Windows XP 環境で動作させる場合は、以下の作業が必要になります。

Adaptec 社から提供されているパッチファイルでドライバを更新してください。

デバイスマネージャの「ドライバ更新」から更新してください。パッチファイルは、下記のウェブサイトよりダウンロードすることができます。

ファイル名 : u160_winxp_drv_rc1.exe

http://www.adaptec.co.jp/cgi-bin/download/download.cgi?ID=scsi/winxp/u160_winxp_drv_rc1_jp.exe



ヒント

その他の OS のアップデートについては、下記 Adaptec 社のウェブサイトの情報を参照の上更新を行ってください。

・ ASC29160 の場合 :

<http://www.adaptec.co.jp/support/download/scsi/29160.html>

・ ASC39160 の場合 :

<http://www.adaptec.co.jp/support/download/scsi/39160.html>



まって!

インタフェースケーブルを接続する場合、必ずインタフェースケーブルを接続してから、スキャナとパソコンの電源を投入してください。



スキャナが SCSI 機器の最終端になるように接続してください。



SCSI ケーブル、および SCSI カードは、市販のものを別途購入していただく必要があります。



Adaptec 社がサイトを更新し URL が変更になった場合は、同社のサイトを参照し (Support>Downloads) にて必要情報、およびファイルを入手ください。

<http://www.adaptec.com/worldwide/homepage.html>

1. インタフェースケーブルをインタフェースコネクタに接続し、固定します。



2. 他端をパソコンに接続します。



SCSI ID は工場出荷時に No.5 に設定されています。他の装置が同じ ID の時は、本装置の ID を変更するか他の装置の ID を変更してください。変更のしかたについては、ユーザマニュアル (CD-ROM) に格納されている「オペレータガイド 第7章：各種モードについて」を参照してください。

2.3 ソフトウェアのインストール

スキャナから原稿を読み取るためには、スキャナドライバと読み取りを行うためのアプリケーションソフトウェア（以降、アプリケーションと記述します）を両方ともインストールする必要があります。

スキャナドライバとアプリケーションはそれぞれ2種類用意されています。

- スキャナドライバ：
FUJITSU TWAIN 32 スキャナドライバ
FUJITSU ISIS スキャナドライバ
- アプリケーション：
ScandAll 21
QuickScan Pro™

各ドライバとアプリケーションソフトウェアのインストール方法については以下で説明します。

FUJITSU TWAIN 32 スキャナドライバ

■ 準備

インストールを始める前に、以下の内容を確認してください。

- Setup CD-ROM を準備してください。(まだ CD ドライブに Setup CD-ROM を入れないで下さい)
- スキャナがパソコンに正しく接続されていることを確認してください。



スキャナの接続方法については、「2.2 ケーブルの接続」(13 ページ)を参考にしてください。

- 旧バージョンの FUJITSU TWAIN 32 ドライバが既にインストールされている場合は、アンインストールしてください。



コントロールパネル内の [プログラム (またはアプリケーション) の追加と削除] で、[Scanner Utility for Microsoft Windows] を削除してください。

- FUJITSU TWAIN32 は 2 種類存在します。
オペレーティングシステム (OS) に応じて、以下のドライバが自動的にインストールされます。

Windows 98, Windows Me, Windows 2000, および、Windows XP の場合 :

FUJITSU TWAIN32 V9

Windows 95, Windows NT 4.0 の場合 :

FUJITSU TWAIN32 V8

ASPI マネージャ V4.60 以上が必要となります。(一般的には、お使いの SCSI ボードに添付されています)

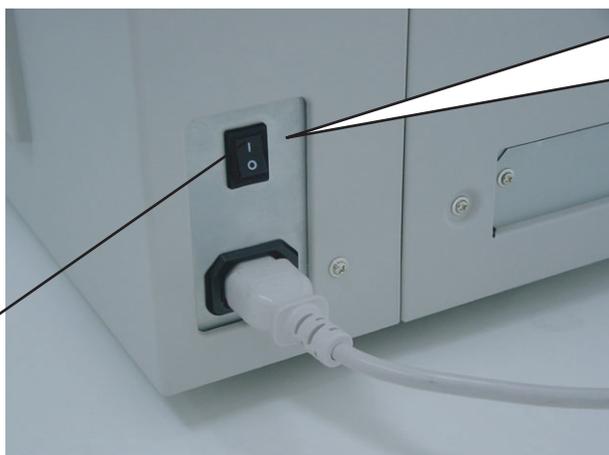
■ FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバのインストール



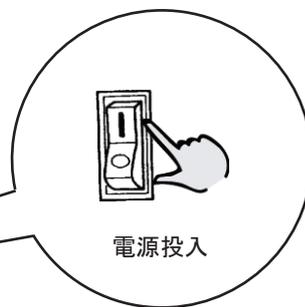
Windows XP の画面を例に説明しています。お使いの OS によって、表示される画面および操作が若干異なります。

- 1 スキャナの電源を投入します。
電源スイッチの「 | 」側を押します。

電源スイッチ



(背面)



次に、操作パネルの電源ボタンを押します。
電源が入ると、操作パネルの緑色の LED が点灯します。



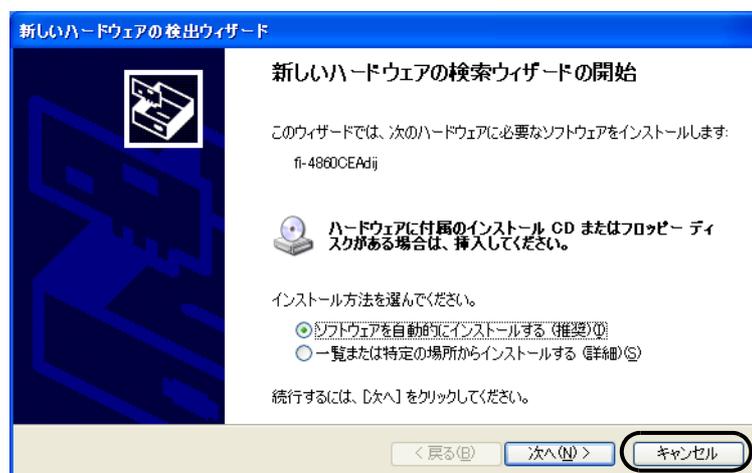
- 2 パソコンの電源を入れて、Windows にログオンします。



Windows NT 4.0、Windows 2000 または Windows XP をお使いの場合は、「Administrator」の権限（コンピュータの管理者権限）を持つユーザでログオンしてください。「Administrator」の権限でログオンしないとインストールが正しく完了されない場合があります。

- 3 スキャナが自動認識され、「新しいハードウェアの検出ウィザード」（または、「新しいハードウェアの追加ウィザード」）画面が表示されます。

[キャンセル] ボタンをクリックして、ウィザード画面を閉じてください。



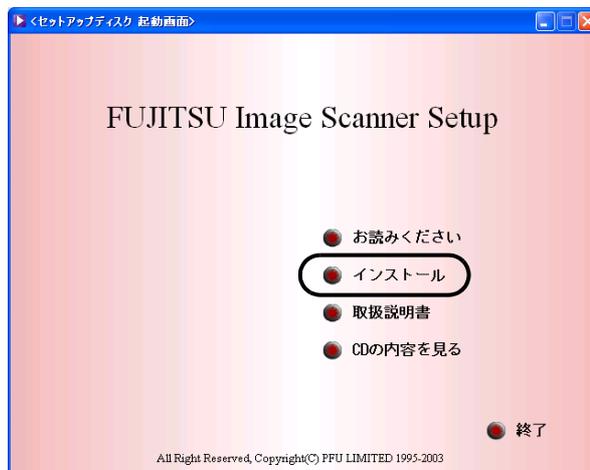
- 4 Setup CD-ROM を CD ドライブにセットします。

⇒ < セットアップディスク起動画面 > が表示されます。



お使いのパソコンの CD ドライブの自動再生設定が OFF になっていると、<セットアップディスク起動画面> が自動表示されない場合があります。その場合は、エクスプローラやマイコンピュータから、CD-ROM 内の “ Install.exe ” を直接実行してください。

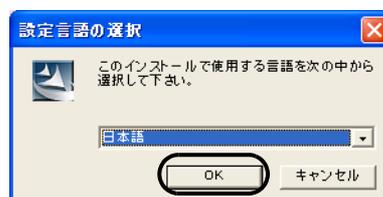
5 [インストール] ボタンをクリックします。



6 以下の画面で、[TWAIN ドライバ] ボタンをクリックします。



7 「設定言語の選択」画面で、「日本語」を選択して [OK] ボタンをクリックします。



- 8 表示される画面指示にしたがってインストールします。
- 9 インストールの完了を通知する画面が表示されるので、[完了] ボタンをクリックします。
- 10 システムが再起動され、スキャナが認識されます。再起動が完全に終わるまで Setup CD-ROM を取り出さないでください



OS によっては、以下のような操作が必要になることがあります。

Windows 98 の場合

ディスクの挿入メッセージが表示される場合、Windows 98 の CD-ROM を CD ドライブにセットして、[OK] ボタンをクリックします。

Windows 2000 の場合

「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示される場合、[はい] ボタンをクリックします。

Windows XP の場合

1. 「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示される場合、Setup CD-ROM が CD ドライブにセットされていることを確認して、[次へ] ボタンをクリックします。
2. 「ハードウェアのインストール」画面で、警告表示が出る場合 [続行] ボタンをクリックします。
3. インストールの完了を通知する画面で、[完了] ボタンをクリックします。

これで、スキャナドライバのインストールは終了です。



スキャナドライバが正しくインストールされていることを確認するためには、ScandAll 21 などの TWAIN 規格に対応したアプリケーションから、読み取り動作をおこなってください。

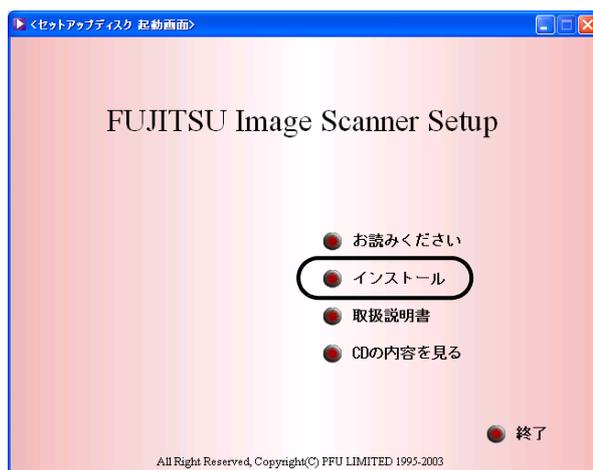
■ ScandAll 21 のインストール

「ScandAll 21」は、TWAIN 規格に対応した、画像取り込み用ソフトウェアです。FUJITSU TWAIN 32 スキャナドライバを使って、スキャナから画像を取り込むことができます。



Windows NT 4.0、Windows 2000 または Windows XP をお使いの場合は、「Administrator」の権限（コンピュータの管理者権限）を持つユーザでログオンしてください。「Administrator」の権限でログオンしないとインストールが正しく完了されない場合があります。

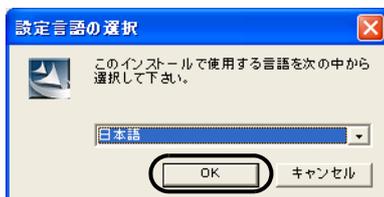
- 1 Setup CD-ROM をセットします。
⇒<セットアップディスク起動画面>が表示されます。
- 2 [インストール] ボタンをクリックします。



- 3 以下の画面で、「ScandAll 21」ボタンをクリックします。



- 4 「設定言語の選択」画面で、インストール時に使用する言語を選択して [OK] をクリックします。



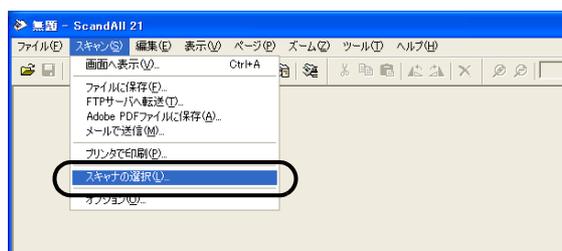
- 5 画面の指示にしたがってインストールします。
6 インストールの完了を通知する画面が表示されるので、[完了] ボタンをクリックします。



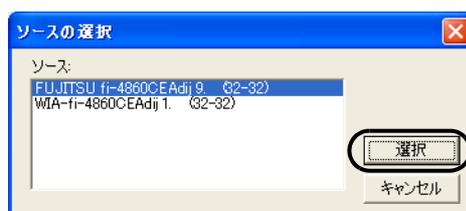
ここで再起動が必要な場合があります。画面の指示にしたがってください。

■ インストールの確認

- 1 ホッパに原稿をセットします。
原稿のセット方法については、「fi-4860C オペレータガイド 1.7 章 ホッパへの原稿のセット」を参照してください。
- 2 ScandAll 21 を起動します。
[スタート] メニューから、[プログラム] - [Scanner Utility for Microsoft Windows] - [ScandAll 21] の順に選択します。
- 3 使用するスキャナを指定します。
ScandAll 21 の [スキャン] メニューから [スキャナの選択] を選択します。



- 4 表示されたダイアログボックスで、「FUJITSU fi-4860Cdj」または「FUJITSU TWAIN32」を選択して、[選択] ボタンをクリックします。



ヒント

Windows 98、Windows Me、Windows 2000 および Windows XP の場合：

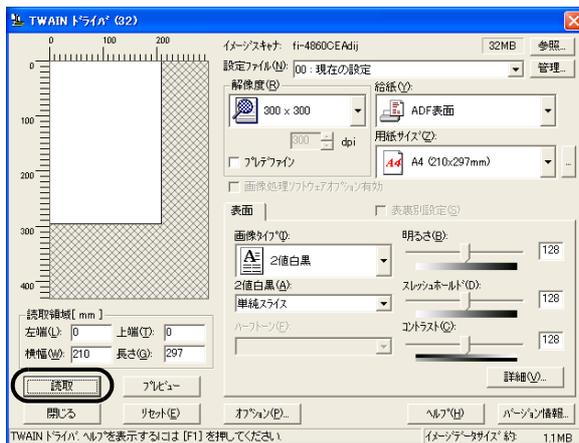
「FUJITSU fi-4860Cdj」

Windows 95、Windows NT 4.0 の場合：

「FUJITSU TWAIN32」

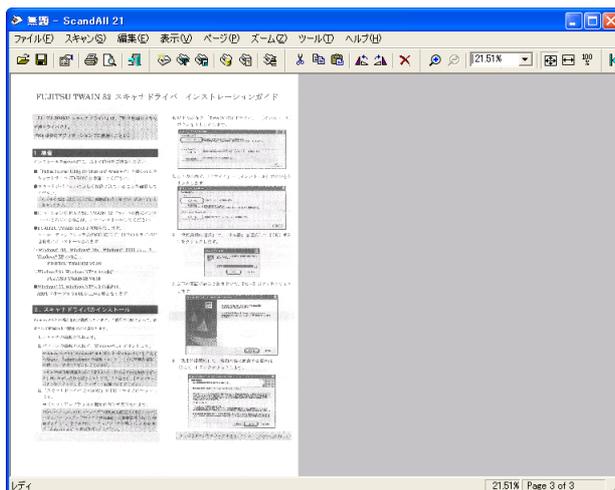
- 5 [スキャン] メニューから、[画面へ表示] を選択します。

- 6 [TWAIN ドライバ] (読み取り条件を設定する画面) で、読み取り解像度や原稿サイズなどを設定して、[読取] ボタンをクリックします。



「TWAIN ドライバ」の設定については、Setup CD-ROM で提供されている「FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバのヘルプ」を参照してください。

- 7 原稿が読み取られ、ScandAll 21 の画面にイメージが表示されます。



原稿をスキャナで読み取ることができたら、セットアップは正常に終了となります。

その他の読み取り方法についてはユーザマニュアル CD-ROM で提供されている fi-4860C オペレータガイドを参照してください。

FUJITSU ISIS スキャナドライバ

■ 準備

インストールを始める前に、以下の内容を確認してください。

- Setup CD-ROM を準備してください。(まだ CD ドライブに Setup CD-ROM を入れないで下さい)
- スキャナがパソコンに正しく接続されていることを確認してください。



スキャナの接続方法については "2.2 ケーブルの接続" (13 ページ) を参照してください。

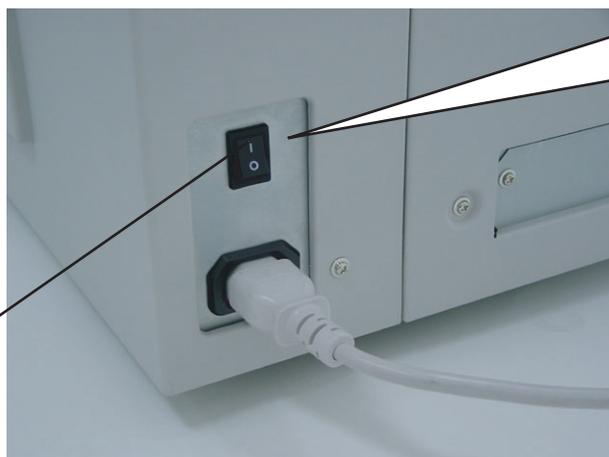
■ FUJITSU ISIS スキャナドライバのインストール



Windows XP の画面を例に説明しています。お使いの OS によって、表示される画面および操作が若干異なります。

- 1 スキャナの電源を投入します。
電源スイッチの「|」側を押します。

電源スイッチ



(背面)

次に、操作パネルの電源ボタンを押します。
電源が入ると、操作パネルの緑色の LED が点灯します。



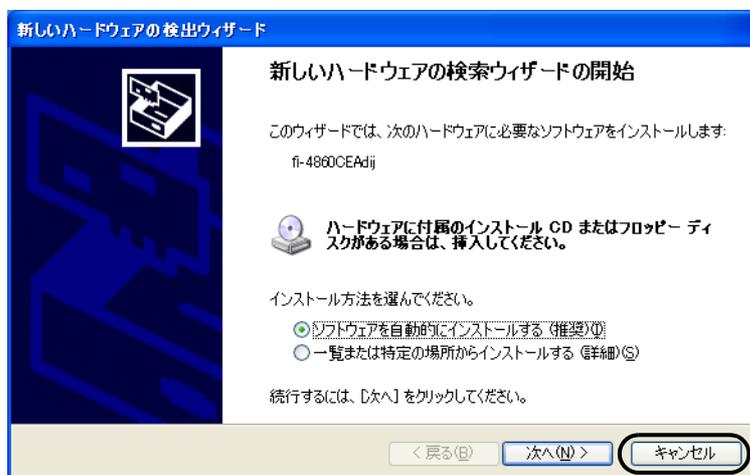
2 パソコンの電源を入れて Windows にログオンします。



Windows NT 4.0、Windows 2000 または Windows XP をお使いの場合は、“Administrator” の権限（コンピュータの管理者権限）を持つユーザでログオンしてください。“Administrator” の権限でログオンしないとインストールが正しく完了されない場合があります。

3 スキャナが自動認識され、「新しいハードウェアの検出ウィザード」（または、「新しいハードウェアの追加ウィザード」）画面が表示されます。

[キャンセル] ボタンをクリックして、ウィザード画面を閉じてください。

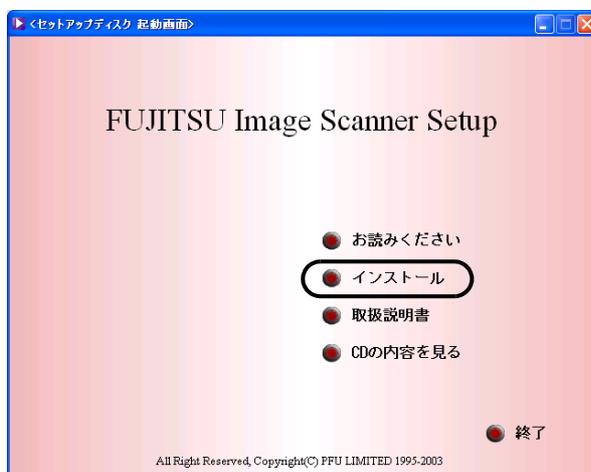


- 4 Setup CD-ROM を CD ドライブにセットします。
⇒<セットアップディスク起動画面> が表示されます。



お使いのパソコンの CD ドライブの自動再生設定が OFF になっていると、<セットアップディスク起動画面> が自動表示されない場合があります。その場合は、エクスプローラやマイコンピュータから、CD-ROM 内の "Install.exe" を直接実行してください。

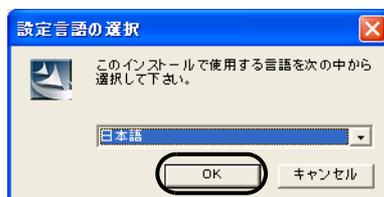
- 5 [インストール] ボタンをクリックします。



- 6 以下の画面で、[ISIS ドライバ] ボタンをクリックします。



7 「設定言語の選択」画面で、「日本語」を選択して [OK] ボタンをクリックします。



8 画面に表示される指示に従ってインストールします。

9 インストールの完了を通知する画面が表示されるので、[完了] ボタンをクリックします。

10 システムが再起動され、スキャナが認識されま ず。再起動が完全に終わるまで Setup CD-ROM を取り出さないでください。



OS によっては、以下のような操作が必要になることがあります。

Windows 98 の場合

ディスクの挿入メッセージが表示される場合、Windows 98 の CD-ROM を CD ドライブにセットして、[OK] ボタンをクリックします。

Windows 2000 の場合

「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示される場合、[はい] ボタンをクリックします。

Windows XP の場合

1. 「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示される場合、Setup CD-ROM が CD ドライブにセットされていることを確認して、[次へ] ボタンをクリックします。
2. 「ハードウェアのインストール」画面で、警告表示が出る場合 [続行] ボタンをクリックします。
3. インストールの完了を通知する画面で、[完了] ボタンをクリックします。

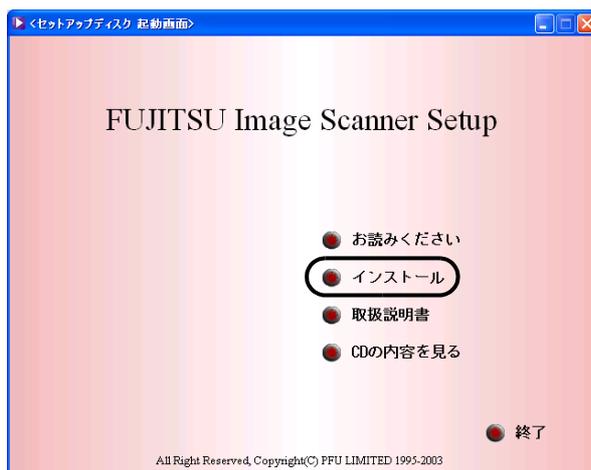
■ QuickScan Pro™ のインストール

「QuickScan Pro」は、ISIS 規格に対応した、画像取り込み用ソフトウェアです。FUJITSU ISIS スキャナドライバを使って、スキャナから画像を取り込むことができます。

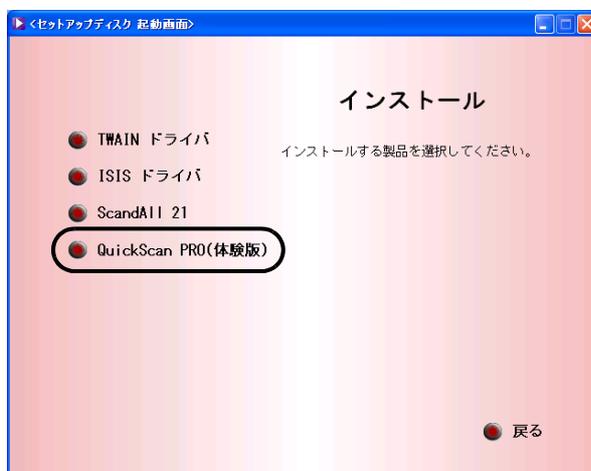


Windows NT 4.0、Windows 2000 または Windows XP をお使いの場合は、“Administrator” の権限（コンピュータの管理者権限）を持つユーザでログオンしてください。“Administrator” の権限でログオンしないとインストールが正しく完了されない場合があります。

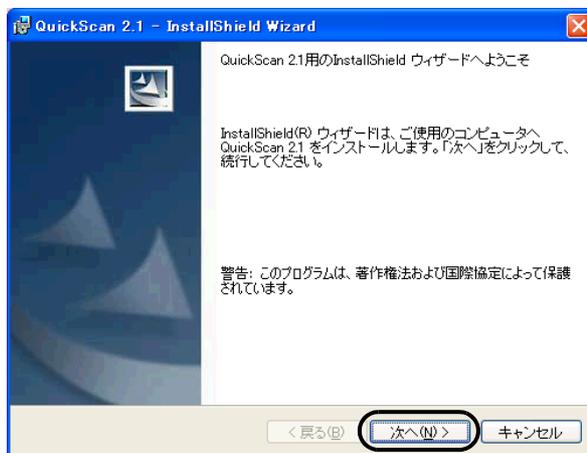
- 1 Setup CD-ROM を CD ドライブにセットします。
⇒<セットアップディスク起動画面> が表示されます。
- 2 [インストール] ボタンをクリックします。



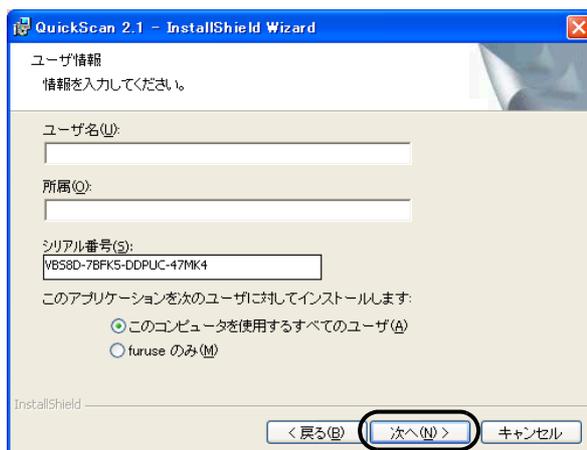
- 3 以下の画面で [QuickScan PRO (体験版)] ボタンを押します。



4 以下の画面で [次へ] ボタンをクリックします。



5 必要な情報を入力の上、[次へ] ボタンをクリックします。



Setup CD-ROM に添付されている QuickScan Pro™ は試用版です。そのため、30 回までの使用制限があります。継続してお使いになる場合は製品版を購入していただく必要があります。(試用版をインストールする場合は、表示されるシリアル番号をそのままお使いください。)

6 画面に表示される指示に従ってインストールします。

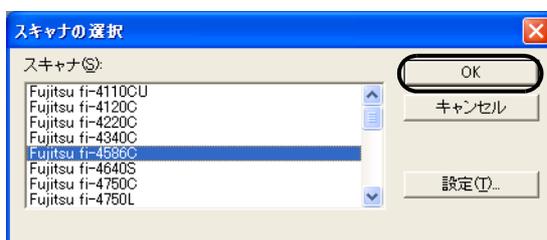
■ インストールの確認

- 1 QuickScan Pro を起動します。

[スタート] から [プログラム] - [QuickScan] の順に選択し、[QuickScan] をクリックします。

- 2 メニューバーから [スキャン] - [スキャナの選択] を選びます。

Fujitsu fi-4860C を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



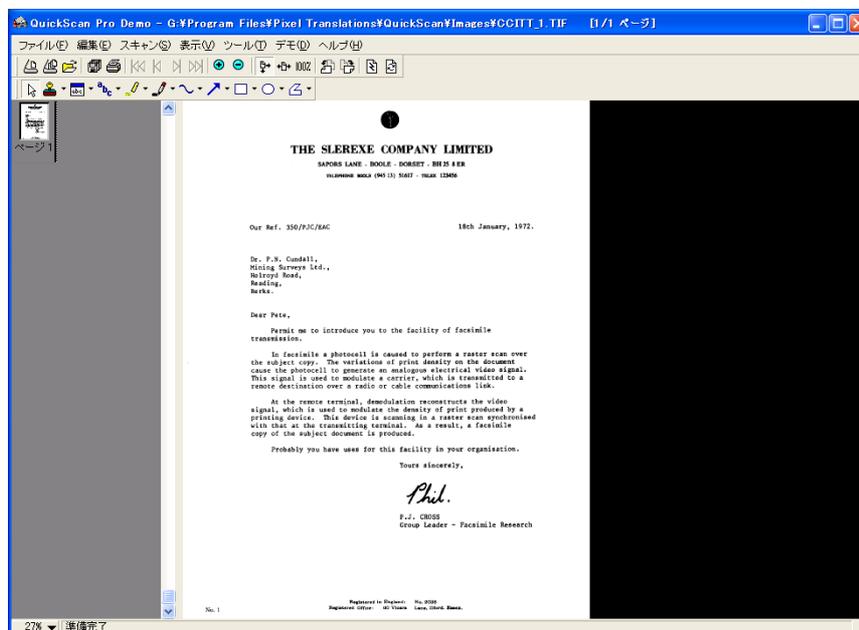
- 3 [スキャン] から [設定のプレビュー] を選んで、読み取り解像度や原稿サイズなどを設定して、[OK] をクリックします。



- 4 ホッパに原稿をセットします。

- 5 原稿のセット方法については、"fi-4860C オペレータガイド 1.7 章 ホッパへの原稿のセット" を参照してください。

6 [スキャン]から[スキャンのプレビュー]を選択すると、原稿の読み取りが開始されます。



原稿をスキャナで読み取ることができたら、セットアップは正常に終了となります。



ヒント

QuickScan の機能や操作法については「QuickScan 概要」もしくは「QuickScan ヘルプ」を参照してください。
[スタート]から[プログラム]-[QuickScan]の順に選択し、参照するファイルをクリックします。

■ Adobe® Acrobat® のインストール

装置に添付されている「Adobe Acrobat 5.0 CD-ROM」から、以下の手順で Adobe Acrobat をインストールします。



ヒント

Adobe® Acrobat® はユーザマニュアル CD-ROM に格納されているマニュアルを表示するために必要です。

お使いのパソコンに、既にインストールされている場合は、あらためてインストールする必要はありません。

- 1 Adobe Acrobat 5.0 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

⇒CD-ROM が自動認識され、「Adobe Acrobat 5.0 AutoPlay」の画面が表示されます。



まって!

お使いのパソコンの CD ドライブの自動再生設定が OFF になっていると、<セットアップディスク起動画面>が自動表示されない場合があります。その場合は、エクスプローラやマイコンピュータから、CD-ROM 内の“AutoPlay.exe”を直接実行してください。

- 2 以下の画面が表示されますので、[次へ] ボタンをクリックします。



- 3 以下の画面が表示されますので、[Acrobat 5.0] ボタンを選択して、下に表示される [Adobe Acrobat 5.0 のインストール] ボタンをクリックします。



⇒インストールが開始されて、セットアップ画面が表示されます。

- 4 セットアップ画面が表示されますので、画面の指示にしたがってインストールします。



Adobe® Acrobat® 5.0 のインストールに関する詳細については、操作 3. の画面の [お読みください] ボタンをクリックして表示される説明をお読みください。
Adobe Acrobat 5.0 の使い方については、「Adobe Acrobat 5.0 のヘルプ」を参照してください

付録 1 操作パネルのメッセージ

■ 通常時のメッセージ (Check LED が消灯)

< Not Ready 状態 > は時間の経過とともに にかわり、すべてが になると以下の
(イニシャル中) チェック状態に移ります。



< Not Ready 状態 >
(原稿排出中)



< Not Ready 状態 >
(センサチェック)



< Not Ready 状態 >
(ホッパリセット中)



< Not Ready 状態 >
(IF ボード初期化終了待ち)



< プリントカート
リッジの準備 >
(電源投入時)



< 読み取り中 >

インクサ ` ンリョウ チュウイ
ヨミトリチュウ × × × ×



[× × × ×] は読み取り枚数カウンタ値になります。

< 読み取り中 >

ヨミトリチュウ × × × ×



[× × × ×] は読み取り枚数カウンタ値になります。

< 低電力モード >

操作パネルの LCD の表示が消えて Power LED が点灯したままのときは、スキャナは低電力モードになっています。



以下の操作のうちひとつを行うとスキャナは低電力モードから復帰します。

- ・ 操作パネル（電源ボタン以外）を押す
- ・ ホッパに原稿をセットする
- ・ パソコンからコマンドを送信する

<ダブルフィード
発生状態>
(読み取り中)

ダブルフィードを検出(重なりチェック)しても継続して読み取りを行うように設定されている場合、ダブルフィードが発生したら以下のメッセージが表示されます。
読み取り終了後にレディ画面でダブルフィード検出状態を解除すると、それ以降は上段の表示が消えます。

| |
|--|
| S U S タ ` フ ` ル フ ィ ー ト ` |
| ヨ ミ ト リ チ ュ ウ X X X X |



[X X X X] は読み取り枚数カウンタ値になります。

(待機中)

ダブルフィード(重なりチェック)が発生している状態でスキャナが待機中の時は、以下のメッセージが表示されます。
[Stop] ボタンを押すことでダブルフィード発生状態は解除できます。
なお、上段のダブルフィードの文字は点滅します。

| |
|--|
| S U S D . フ ィ ー ト ` X X X X X X |
| レ テ ` イ X X X X X X X X |



上段の [X X X X X] は、読み取り枚数カウンタ値になります。
下段の [X X X X X X X X] は、消耗品カウンタ値または寿命カウンタ値になります。

<ダブルフィード
発生状態>
(読み取り中)

ダブルフィード(厚さチェック)を検出しても継続して読み取りを行うように設定されている時にダブルフィードが発生したら、以下のメッセージが表示されます。
読み取り終了後にレディ画面でダブルフィード検出状態を解除すると、それ以降は上段の表示が消えます。

| |
|--|
| タ ` フ ` ル フ ィ ー ト ` |
| ヨ ミ ト リ チ ュ ウ x x x x |



[X X X X] は読み取り枚数カウンタ値になります。

(待機中)

ダブルフィード(厚さチェック)が発生している状態でスキャナが待機中の時は、以下のメッセージが表示されます。

Stop ボタンを押すことでダブルフィード発生状態は解除できます。
なお、上段のダブルフィードの文字は点滅します。

```
タ ` フ ` ル フ ィ ー ト ` x x x x x  
レ テ ` イ x x x x x x x x
```



上段の [x x x x x] は、読み取り枚数カウンタ値になります。
下段の [x x x x x x x x] は、消耗品カウンタ値または寿命カウンタ値になります。

■ エラーメッセージ（一時的な異常：Check LED が点滅）

< ホッパエンブ
ティ >

読み取り中にホッパに原稿がなくなると、以下のメッセージが表示
されます。ホッパに原稿を補給してください。

原稿をホッパに補給して再読み取りを行うと、読み取り動作は継続
されます。

エラー表示を消すには [Stop] ボタンを押してください。

ヨ ウ シ ナ シ × × × × ×



Check LED は点滅しません。

(ダブルフィード
状態)

タ ` フ ` ル フ ィ ー ト ` × × × × ×
ヨ ウ シ ナ シ



[× × × × ×] は読み取り枚数カウンタ値になります。

< 原稿詰まり >

原稿詰まりを起こすと、以下のメッセージが表示されます。詰まっ
た原稿の取り除き方については、ユーザマニュアル (CD-ROM) に
格納されている「オペレータガイド」を参照してください。

ヨ ウ シ ツ ` マ リ ×



[×] には、原稿詰まりの種類によって「1」～「8」の値が表示
されます。

< ADF カバー
オープン >

ADF 上シートガイドが完全に閉じられていないと、以下のメッセージが表示されます。ADF 上シートガイドを完全に閉じれば読み取りを行えるようになります。

A D F カ バ ー オ ー プ ン

< ダブルフィード
エラー >
(重なりチェック)

原稿の重なりチェックによるダブルフィードエラーを検出すると、以下のメッセージが表示されます。

S U S タ ッ プ ル フ ィ ー ト エ ラ ー

< ダブルフィード
エラー >
(厚さチェック)

原稿の厚さチェックによるダブルフィードエラーを検出すると、以下のメッセージが表示されます。

タ ッ プ ル フ ィ ー ト エ ラ ー

(長さチェック)

原稿の長さチェックによるダブルフィードエラーを検出すると、以下のメッセージが表示されます。

ヨ ウ シ ナ カ ッ サ エ ラ ー

< ピックミス >

原稿がホッパから ADF に送り込まれなかった時、以下のメッセージが表示されます。

ピ ッ ク ミ ス



Check LED は点滅しません。

< ピックオーバー
ラン >

原稿がホッパから ADF に送り込まれた時、本来いるべき位置よりも奥に入ってしまった場合に、以下のメッセージが表示されます。

ピ ッ ク オ ー ハ ッ ラ ン

<スキューエラー> 原稿が傾いた状態でホッパから ADF に送り込まれた時に、以下のメッセージが表示されます。

スキューチェック

<ホッパフルまたはピックユニット無し> 原稿がホッパにセットされた状態で、ピックアップユニットがきちんと装着されていないか、ホッパにセットした原稿の量が多すぎた時、以下のメッセージが表示されます。

ホッパフル または
ピックアップユニット ナシ

<ピックアップユニット無し> 原稿がホッパにセットされていない状態で、ピックアップユニットがきちんと装着されていない時、以下のメッセージが表示されます。

ピックアップユニット ナシ

<ピックアップユニットリリース> ピックローラユニットが上方に退避されたまま読み取りをおこなった時、以下のメッセージが表示されます。

ピックアップユニット ノットリリース

<ブレーキローラ無し> ブレーキローラユニットがきちんと装着されていない時、以下のメッセージが表示されます。

ブレーキローラ ナシ

<分離ローラ磨耗> 分離ローラを回転させたときにブレーキローラが全く回転しなかった場合に、以下のメッセージが表示されます。

フ ェ ン リ ロ ー ラ チ ェ ッ ク

<消耗品チェック> 消耗品カウンタ値が、消耗品交換メッセージの通知設定値を超えた時、以下のメッセージが表示されます。

シ ョ ウ モ ウ ヒ ン チ ェ ッ ク

<プリントカートリッジ無し> fi-486PRFR (フロント側インプリンタ) または fi-486PRRE (リア側インプリンタ) にプリントカートリッジが挿入されていない時、以下のメッセージが表示されます。

フ ° レ
イ ン ク カ ー ト リ ッ シ ッ ナ シ

ホ ° ス ト
イ ン ク カ ー ト リ ッ シ ッ ナ シ

■ アラームメッセージ（装置異常：Check LED が点灯）

スキャナに異常が起きると、以下のメッセージのどれかが表示されます。その場合は電源を切断してから、もう一度電源を投入してください。もし再び同じメッセージが表示された場合は販売代理店、またはイメージングサービス&サポートセンターにご相談ください。

< 光学系異常
（表面） >

表面側光学ユニットに異常が発生した時、以下のメッセージが表示されます。

コ ウ カ ` ク ケ イ イ シ ` ヨ ウ オ モ テ

< 光学系異常
（裏面） >

裏面側光学ユニットに異常が発生した時、以下のメッセージが表示されます。

コ ウ カ ` ク ケ イ イ シ ` ヨ ウ ウ ラ

< モータヒューズ
アラーム >
（搬送モータ）

各種モータ（搬送モータ、分離モータ、ピックモータ、ホッパモータ）のヒューズが切断した時、以下のメッセージが表示されます。

ヒ ュ ー ス ` ア ラ ー ム
ハ ン ソ ウ モ ー タ

（分離モータ）

ヒ ュ ー ス ` ア ラ ー ム
フ ` ン リ モ ー タ

（ピックモータ）

ヒ ュ ー ス ` ア ラ ー ム
ピ ッ ク モ ー タ

（ホッパモータ）

ヒ ュ ー ス ` ア ラ ー ム
ホ ッ ハ ` モ ー タ

<ランプヒューズ
アラーム
(表面)>

表面のランプのヒューズが切断した時、以下のメッセージが表示されます。

ヒューズ ` アラーム
オモテメンランプ。

<ランプヒューズ
アラーム
(裏面)>

裏面のランプのヒューズが切断した時、以下のメッセージが表示されます。

ヒューズ ` アラーム
ウラメンランプ。

<ウラアテ切替え
ヒューズアラーム
(表面)>

表面側のウラアテ切替えヒューズが切断した時、以下のメッセージが表示されます。

ヒューズ ` アラーム
ウラアテキリカエ : オモテメン

<ウラアテ切替え
ヒューズアラーム
(裏面)>

裏面側のウラアテ切替えヒューズが切断した時、以下のメッセージが表示されます。

ヒューズ ` アラーム
ウラアテキリカエ : ウラメン

<ウラアテ切替え
異常 (表面)>

表面側のウラアテの切替えができなくなった時、以下のメッセージが表示されます。

オモテメン
ウラアテキリカエエラー

<ウラアテ切替え
異常 (裏面)>

裏面側のウラアテの切替えができなくなった時、以下のメッセージが表示されます。

ウラメン
ウラアテキリカエエラー

< ホッパオーバーラン >

ホッパが止まるべき位置を超えて上昇または下降をした時、以下のメッセージが表示されます。

ホ ッ ハ ° オ ー ハ ` - ラ ン

< センサ制御異常 >

センサ制御部に異常が発生した時、以下のメッセージが表示されま

セン サ セ イ キ ` ヨ イ シ ` ヨ ウ

< 各種センサ汚れ異常 >

センサの汚れが原因で異常が発生した時、以下のメッセージが表示

X X X X セ ン サ ヨ コ ` レ エ ラ ー



[x x x x] には、センサの名 (SUS, SF0, SA4 等) が入ります。

< 各種センサアラーム >

センサに異常が発生した時、以下のメッセージが表示されます。

X X X X セ ン サ エ ラ ー



[x x x x] には、センサの名称 (SUS, SF0, SA4 等) が入ります。

< 温度異常 >

装置内の温度が決められた温度より高くなった時、以下のメッセージが表示されます。

オ ン ト ` ア ラ ー ム

< 電源異常 >

電源に異常が発生した時、以下のメッセージが表示されます。

テ ` ン ケ ` ン イ シ ` ヨ ウ

< EEPROM 異常 >

EEPROM に異常が発生した時、以下のメッセージが表示されます。

ア ト ` レ ス X X H
E E P R O M イ シ ` ヨ ウ



異常が発生した EEPROM 内のアドレスが x x に表示されます。

< VDCC リード/
ライトアラーム >

VDCC 領域へのリード/ライトアクセスに異常が発生した時、以下のメッセージが表示されます。

V D C C 2 R / W エ ラ ー

(MDC タイムアウト)

MDC 領域へのアクセス時にタイムアウトエラーが発生した時、以下のメッセージが表示されます。

M D C タ イ ム ア ウ ト

< ディザ、ガンマ
RAM リードライ
トアラーム >

ディザおよびガンマ用 RAM へのリード/ライトアクセスに異常が発生した時、以下のメッセージが表示されます。

テ ` イ サ ` / カ ` ン マ
R / W エ ラ ー

< テンポラリ RAM
リードライト
アラーム >

テンポラリ用 RAM へのリード/ライトアクセスに異常が発生した時、以下のメッセージが表示されます。

テ ン ホ ` ラ リ メ モ リ R / W エ ラ ー

< MDC ファーム
ダウンロード
アラーム >

MDC へのファームウェアのダウンロード中に異常が発生した時、以下のメッセージが表示されます。

M D C タ ッ ウ ン ロ ー ト ッ
エ ラ ー

< インプリンタ異常 >

fi-486PRFR (フロント側インプリンタ) または fi-486PRRE (リア側インプリンタ) で異常が発生した時、以下のメッセージが表示されます。

フ ° レ
インフ ° リ ン タ イ シ ッ ヨ ウ

ホ ° ス ト
インフ ° リ ン タ イ シ ッ ヨ ウ

< コマンドアラーム >

パソコンからのコマンドシーケンスにおいて異常が発生した時、以下のメッセージが表示されます。

(MDC コマンド
タイムアウト 1)

コ マ ン ト ッ エ ラ ー 1

(MDC コマンド
タイムアウト 2)

コ マ ン ト ッ エ ラ ー 2

(SDC コマンド
シーケンス
アラーム)

コ マ ン ト ッ エ ラ ー 3

(MDC 異常応答)

コ マ ン ト ッ エ ラ ー 4

(SCSI 応答タイム
アウト)

コ マ ン ト ッ エ ラ ー 5

付録 2 消耗品の番号と交換周期

以下の表に、本装置に使用される消耗品を示します。寿命前にあらかじめ消耗品を準備されることをお勧めします。消耗品は定期的に交換することが必要です。本装置では、各消耗品取り付け後の読み取り原稿枚数（パッドユニット、ピックアップユニット、ブレーキローラユニット、プリントカートリッジ）およびランプの累計点灯時間をそれぞれ記録していますので、使用枚数または使用時間をチェックすることができます。

チェックをおこないたい場合は CD-ROM に格納されているオペレータガイドの「7.3 セットアップモードの詳細」を参照してください。

| 品名 | 仕様 | 商品番号 | 交換周期（目安） |
|-------------|--------------|---------|-----------------------------|
| ランプ | PA83950-0290 | 0634460 | 1,000 時間（60,000 分） |
| パッドユニット | CA04315-G730 | 0961131 | 300,000 枚または 1 年間 |
| ピックアップユニット | PA03296-F711 | 0634450 | 300,000 枚または 1 年間 |
| ブレーキローラユニット | CA04315-F705 | 0961133 | 300,000 枚または 1 年間 |
| プリントカートリッジ | CA00050-0262 | 0330610 | 黒色インクカートリッジ 4,000,000 文字 |

交換周期は、A4 原稿（64 g/m²）の上質紙、または中質紙を使用した場合の目安であり、使用する原稿、お客様の使用頻度、および清掃の頻度によって交換周期が異なります。

消耗品はサプライ用品として富士通コワーコ株式会社より販売しております。ご購入につきましては、本装置をお買い求めの販売代理店や担当営業、PFU イメージングサービス & サポートセンターにご相談ください。



まって!

当社指定の消耗品以外は使用しないでください。

付録3 困ったときには

スキャナの使用中に発生するトラブルとその対処方法について説明します。
以下のような問題が発生した場合は、該当の参照先をご覧ください。

- **電源が入らない**

オペレータガイドの「5章：困ったときには 症状1」を参照してください。

- **操作パネルの表示が消える**

オペレータガイドの「5章：困ったときには 症状2」を参照してください。

- **読み取りが開始されない**

オペレータガイドの「5章：困ったときには 症状3」を参照してください。

- **絵や写真の読み取り結果が良くない**

オペレータガイドの「5章：困ったときには 症状4」を参照してください。

- **文字や線の読み取り結果が良くない**

オペレータガイドの「5章：困ったときには 症状5」を参照してください。

- **画像が歪む、または鮮明でない**

オペレータガイドの「5章：困ったときには 症状6」を参照してください。

- **読み取った画像に縦線がでる**

オペレータガイドの「5章：困ったときには 症状7」を参照してください。

- **電源投入直後、操作パネルの Check LED が点滅する**

オペレータガイドの「5章：困ったときには 症状8」を参照してください。

- **電源投入直後、操作パネルの Check LED が点灯する**

オペレータガイドの「5章：困ったときには 症状9」を参照してください。

- **ダブルフィールドが頻繁に起こる**

オペレータガイドの「5章：困ったときには 症状10」を参照してください。

- **頻繁に原稿詰まりが起こる**

オペレータガイドの「5章：困ったときには 症状11」を参照してください。

- **読取った画像の先端に影がある**

オペレータガイドの「5章：困ったときには 症状12」を参照してください。

- **スキャナが自動認識されない**

オペレータガイドの「5章：困ったときには 症状13」を参照してください。

• **Windows システムが不安定になった**

オペレータガイドの「5章：困ったときには 症状14」を参照してください。



問題が解決しないときは、お買い求めの販売店または P F U イ
メージングサービス&サポートセンターまで、連絡してください。

付録4 原稿詰まりが発生したときは

原稿を読み取っているときに原稿が詰まった場合は、以下の要領で原稿を取り除いてください。

注意

- ・ 詰まった原稿を取り除くときは、ケガをしないように注意してください。
- ・ 詰まった原稿を取り除くときは、ネクタイやネックレスなどがスキャナ内部に巻き込まれないように注意してください。
- ・ ガラスが高温になっている場合があります。やけどしないように注意してください。

■ 給紙部または搬送路での原稿詰まりの場合

1. スタッカの上にある原稿を取り除きます。
2. 右側の上搬送レバーを引き上げて、上搬送ユニットを開きます。

注意

スキャナの内部に手を入れる前に、上搬送ユニットがロックされていることを確認してください。



3. ADF レバーを手前に引きながら、ADF 上シートガイドを持ち上げます。



4. 詰まっている原稿を取り除きます。



ステープラーの針やクリップなどは原稿詰まりの原因となりますので、原稿と搬送路をよく調べて必ず取り除いてください。また、読み取りを行う前に、ステープラーの針やクリップなどは必ず原稿から取り外してください。

5. ADF 上シートガイドを静かに降ろします。

6. 上搬送ユニットを少し持ち上げて、セーフティロックを外してから静かに降ろします。

■ 排紙部での原稿詰まりの場合

1. スタッカの上にある原稿を取り除きます。

2. 右側の上搬送レバーを引き上げて、上搬送ユニットを開きます。



3. 詰まっている原稿をスタッカ側に引き出して取り除きます。
4. 上搬送ユニットを少し持ち上げて、セーフティロックを外してから静かに降ろします。

原稿分離力の設定項目は以下のようになっています。

| 設定 | 原稿の厚さ | 原稿分離力 | 「ダブルフィード」が頻繁に起こる場合 | 「ピックミス」または「カミツマリ1」が頻繁に起こる場合 |
|-------|-------|------------------|--------------------|-----------------------------|
| アツイ | 厚い | 強い | 原稿分離力を強める | 原稿分離力を弱める |
| ややアツイ | やや厚い | やや強い | | |
| フツウ | 普通 | 中程度 (工場出荷時設定) | | |
| ややウスイ | やや薄い | やや弱い | | |
| ウスイ | 薄い | 弱い | | |

ピックミスが頻繁に起こる場合は、さらにピックローラの回転速度を調整します。

◇(下方向ボタン)を押して、以下の画面を表示させます。

! 0 3 ヒ ッ ク ス ヒ ー ト
= ハ ヤ イ / フ ツ ウ / オ ソ イ

◇(左方向ボタン)または◇(右方向ボタン)を押して、項目を選択します。



点滅している状態が、その項目を選択している状態です。

Enter ボタンを押して、設定を有効にします。

| ピックスピード | ピックミスが頻繁に発生する |
|-----------|--------------------|
| ハイ (工場出荷) | ↓ ピックスピードを遅くします |
| フツウ | |
| オソイ | |



ピックスピードを [フツウ][オソイ] に設定すると、読み取り処理速度が遅くなります。

修理・お問い合わせについて

当社では、お客様に安心してイメージスキャナ fi シリーズをご使用いただけるよう、万全のサポート体制を整えています。

購入時にご加入いただく契約サービスと、必要な時にその都度ご利用いただけるスポットサービスによりお客様を強力にバックアップいたします。

■ 契約サービス

定期保守サービス

年に一度予防保守を行います。万一の障害発生時には、保守員がお客様のところにお伺いして保守修理作業を実施します。

定額保守サービス

万一の障害発生時には、保守員がお客様のところにお伺いして保守修理作業を実施します。

なお、コール受付窓口については、担当の保守員にお問い合わせください。

■ スポットサービス

出張保守サービス（有償）

機器の故障発生時に販売代理店または PFU イメージングサービス & サポートセンターにご連絡いただき、その後保守員がお客様のところにお伺いして保守修理作業を実施します。

部品費については、当社所定料金が別途必要になります。
保証期間内に正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。

スポットサービスの場合の故障・修理、および各種お問い合わせ

| | |
|--------|---|
| 受付窓口 | PFU イメージングサービス&サポートセンター |
| E-mail | scanners@pfu.fujitsu.com |
| 電話 | 0120-37-9089 042-788-7746（携帯電話からおかけの場合） |
| 受付時間 | 月～金曜日 9:00～12:00、13:30～17:00 (土・日・祝祭日・当社休業日を除く) |
| 修理拠点 | 株式会社 PFU 金沢クーリエセンター 電話：076-204-2600 住所につきましては保証書の記載をご覧ください |
| ホームページ | http://imagescanner.fujitsu.com/jp/ |

なお、本サービス内容は、予告なく変更される場合があります。
詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、または PFU イメージングサービス&サポートセンターまでお問い合わせください。

索引

あ行

| | |
|--------------|----|
| インストレーションガイド | 2 |
| インタフェースコネクタ | 4 |
| インプリンタカバー | 4 |
| インレット | 4 |
| 上搬送ユニット | 4 |
| 上搬送レバー | 4 |
| お客様登録カード | 2 |
| お使いになる前に | 1 |
| オペレータガイド | 12 |

か行

| | |
|------------|------|
| ガイドプレート | 4, 5 |
| カウンタ | 9 |
| 消耗品カウンタ | 10 |
| 読み取り枚数カウンタ | 10 |
| ライフカウンタ | 10 |
| 各部の名称と働き | 3 |
| 原稿詰まり | 18 |
| 原稿分離力の調整 | 20 |

さ行

| | |
|---------------|------|
| サードパーティスロット | 4 |
| サイドガイド | 4 |
| 消耗品 | 14 |
| 消耗品カウンタ | 10 |
| スキャナの設置と接続 | 11 |
| スタッカ | 4 |
| スタッカエクステンション | 4 |
| ストッパ | 4 |
| 接続 | 13 |
| インタフェースケーブル | 13 |
| 電源ケーブル | 13 |
| 設置 | 12 |
| 操作パネル | 4, 6 |
| ソフトウェアのインストール | 16 |

た行

| | |
|--------|---|
| 電源ケーブル | 2 |
|--------|---|

| | |
|--------------|--------|
| 電源スイッチ | 4 |
| 電源投入 | 18, 27 |
| 電源ボタン | 4 |
| 取り外し可能部品 | 5 |
| ガイドプレート | 5 |
| ガラスシートガイド | 5 |
| パッドユニット | 5 |
| ピックアップユニット | 5 |
| ブレーキローラユニット | 5 |
| ランプ | 5 |
| ランプソケット | 5 |
| ランプユニット | 5 |
| リムーバブルシートガイド | 5 |

は行

| | |
|---------------------------------------|------|
| パッドユニット | 4, 5 |
| ピックアップユニット | 4, 5 |
| 付属品 | 2 |
| インストレーションガイド | 2 |
| お客様登録カード | 2 |
| スキャナドライバ | 2 |
| 電源ケーブル | 2 |
| FUJITSU ISIS スキャナドライバ インストレーションガイド | 2 |
| 保証書 | 2 |
| ユーザマニュアル | 2 |
| Adobe Acrobat 5.0 | 2 |
| ブレーキローラユニット | 5 |
| 保証書 | 2 |
| ボタン | 7 |
| ホッパ | 4 |
| ホッパエクステンション | 4 |
| 本体と付属品の確認 | 2 |

や行

| | |
|------------|-------|
| ユーザマニュアル | 2, 12 |
| 読み取り枚数カウンタ | 10 |

ら行

| | |
|---------|----|
| ライフカウンタ | 10 |
|---------|----|

| | |
|--------------|---|
| ランプ | 5 |
| ランプソケット | 5 |
| ランプユニット | 5 |
| リムーバブルシートガイド | 5 |

A

| | |
|-------------------|---|
| ADF | 4 |
| Adobe Acrobat 5.0 | 2 |

F

| | |
|--|---|
| FUJITSU ISIS スキャナドライバ イン ストレーションガイド | 2 |
|--|---|

L

| | |
|-----|---|
| LCD | 8 |
| LED | 8 |

S

| | |
|--------------|---|
| Setup CD-ROM | 2 |
|--------------|---|

fi-4860C イメージスキャナ インストレーションガイド

P3PC-E177-04

発行日 2003年8月

発行責任 株式会社 PFU

Printed in Japan

- ・本書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを複製することは著作権法上禁止されております。
- ・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
- ・本装置の使用および本書に記載された内容に起因した損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責を負いません。
- ・本装置の保証条件は、同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。
- ・本装置の修理部品の最低供給期間は、製造中止後5年間です。
- ・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

